



どろんこハリー

ジーン・ジオン ぶん
マーガレット・プロイ・グレアム え
わたなべ しげお やく
福音館書店 1964年 1155円
32ページ 31×22cm

ハリーは黒いぶちのある白い犬です。ある日、お風呂が大嫌いなハリーは、お風呂に水を入れる音を聞いて、ブラシをくわえて外に逃げ出します。元気に外を走り回り、ハリーは白いぶちのある黒い犬になってしまいます。家に帰ると、自分がハリーであることを、芸を披露して家の人にアピールします。最後の場面で、隠したブラシをチラリと見せながら、ハリーが安心しきった顔で眠っている様子は、ハリーにとっての家の居心地のよさが伝わってきます。また、この絵本は、字の読める大人よりも、読めない子どもの方が、先にハリーの身に起きた事件を感じとることができます。それは、文章が始まるよりも前に、絵が先にお話を始めているからです。



ねずみくんのチョコッキ

ねずみくんの絵本シリーズ
なかえ よしを 作 上野 紀子 絵
ポプラ社 1974年 1050円
32ページ 25×32cm

緑にふちどられた白い画面の下の方に墨色で描かれたねずみくん。一際目を引く赤いチョコッキを着て、誇らしげに立っています。「いいチョコッキだねちょっと させてよ」とみんなが次々にチョコッキを着たがる気持ちもわかります。余計なものが何も描かれていない世界で、ねずみくんの小ささ、白い画面からはみ出すほどのぞうさんの大きさを味わってください。ねずみくんはすっかりのびてしまった赤いチョコッキにがっかり。チョコッキに腕をとおして帰っていくねずみくんの姿は悲しみにあふれています。しかし、このチョコッキのあたらしい使い道があるのです。最後のページをめくってください。